



# 仕事紹介

あいなん仕事紹介 その②

【町内で生き生きと仕事をしている方を紹介します】

## 堺歯車工作所 工場長 加藤 秋一さん



### 愛南の工場から 世界に向けて

クレーン車両用駆動装置や自動車用ミッション部品などを製造している堺歯車工作所四国工場。大阪本社で建設機械の部品製造・組み立てを行っていましたが、本社工場だけでは受注の消化が困難な状況となり新拠点の設置を検討してまいりました。それと同じ時期に企業誘致をしてきた旧一本松町で平成13年から四国工場の稼働をスタートしました。



現在、堺歯車四国工場では63人の作業員が働いており、9割以上が町内出身者です。工場長を務める加藤秋一さんは大阪府出身。親会社の株式会社浅野歯車工作所から出向しており、5年前から工場長として四国工場の指揮をとっています。大学では商学や経済学について学んでいたという加藤さんですが、「全く畑違いな業種に縁あって就職し、働いてみて気付いた、ものづくりの魅力がたくさんある」と笑顔で話します。勤続35年目の加藤さんは、培ってきた経験と技術を生かして従業員育成はもとより、本社との「橋渡し」として四国工場の円滑な運営に努めています。

### 技術を結集した看板商品

堺歯車工作所の主力商品は、公道を自走するクレーン車に使われる駆動系装置部品です。株式会社タダノが製造する『ラフテレーンクレーン』に搭載されている駆動系装置部品の加工から組み立てまで一括して行っています。『アクスルAssy』と呼ばれる、直径1.5メートル近くある車輪を支える大きな駆動系部品を毎月300台分製造。堺歯車製の駆動系部品が搭載されたクレーン車は北米をはじめとする海外にも輸出されており、納品先の気候に合わせて『耐寒仕様』の商品も製造しています。

ます。

車両総重量25トンを超える大型クレーン車を支え、自走させる駆動系部品は職人の手によって一つずつ丁寧に仕上げられ、研磨・塗装など各工程において職人の高い技術力によって組み上げられています。仕上がった製品は、機械だけではなく、職人の目と感覚によって細部までチェックをして出荷。「加工から組み立てまで一括して行った製品には職人たちの技術が結集しています。これらの製品が自分たちの努力の結果として出荷されることに大きな喜びを感じる」と、自信とやりがいをみせます。

- ・昭和14年（大阪府堺市）  
株式会社堺歯車工作所 創業
- ・平成13年  
堺歯車工作所四国工場 稼働開始
- ・令和元年  
株式会社浅野歯車工作所の  
子会社として運営開始



愛媛  
CATV  
動画





## 建機部品だけでなく 自動車部品にも事業拡大

建機部品の製造に特化していた堺歯車工作所でしたが、製造分野の拡大を図って徐々に自動車関係の業務を増やしてきました。今季からはダイハツ工業株式会社が販売する『ハイゼット』や『アトレー』の軽自動車に搭載するミッション部品の一次加工にも着手し、建機のみならず自動車部品における技術力の高さも業界内で強く示しています。



堺歯車工作所が一次加工をしているミッション部品は、6種類のギアを12,500個ずつ、ひと月に75,000個製造。クレーン車両用部品の製造ラインとは異なり自動車部品加工自動化ラインが整備されています。専用の加工機械によって量産体制が整えられたことにより、今後も自動車部品加工の業務増加が見込まれ、生産ラインの増設や人員増加を視野に、日々業務に励んでいます。

## 堺。プライド

担当する部品や工程によって求められる技術力は異なり、自身の技術力を磨きながらステツプアップしていける環境が整えられています。

堺歯車工作所では、インドネシアからの技能実習生も雇用しており、今後の事業拡大を見据えた職人の育成を積極的に進めています。また、現在募集している従業員についても、製造業の経験がある方に限らず未経験の方まで幅広く募集しています。

その理由について加藤さんは、「私自身が未経験の分野に飛び込んでみて新たな発見ができたという経験があるため、気軽なものづくりの世界に入ってもらい、新たな楽しみに気づいてほしい」と話しました。

堺歯車工作所で生まれる部品や装置、それら一つ一つが世界を動かす大切な歯車です。

